

2019年10月21日 第295号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「19 行動」に 2500 人

自衛隊を中東に派遣するな!

憲法審査会始動させるな! 安倍改憲阻止の運動を強めよう!

総がかり行動実行委員会・安倍9条改憲NO!全国市民アクションは10月19日、「憲法審査会始動させるな! 辺野古新基地建設やめろ! 嫌韓あおるな! 東北アジアに平和と友好! 10・19国会議員会館前行動」を行い、2500人が参加。韓国から安倍政治糾弾の運動を展開している仲間たちが参加しました。憲法審査会を開かせない、安倍改憲を阻止するため、職場・地域から取り組みを強めることが重要です。

社民党・福島みずほ参院議員、立憲民主党・石川大我参院議員、日本共産党・田村智子参院議員があいさつしました。

総がかり行動実行委員会・高田健共同代表が主催者あいさつ。はじめに台風19号で被災された方たちに対しお見舞いの言葉を述べました。安倍政権が中東への派遣を有志連合ではなく、独自で行うと表明したことについて「トランプの言うことを聞いて法的根拠もなく、調査・研究という名目で派遣するなど通用しない。派遣のペテンを許さない。全力で阻止しよう」と訴えました。「自公は憲法審査会を始動させ、憲法改悪に全力をあげようとしている。総がかり行動で昨日、声明(安倍首相らの改憲の動きに反対し、憲法審査会の再始動強行に反対します)を出した。自民案の提示を許さない。3000万人署名をたくさん集め、改憲を阻止しよう」と呼びかけ、「日韓市民との連帯、沖縄県民との連帯を強め、諸悪の根源である安倍政権を市民と野党の共闘で倒し悪政を転換させよう」と訴えました。

韓国からの仲間を代表し、グリーン 코리아(緑色連合)代表・ユン・ジョンスクさんが発言。「韓国での8月15日の反日の集会に日本からの代表が連帯あいさつをしてくれたことや、日本での『韓国は敵なのか』の声明などがきっかけで、反日集会ではなく、反安倍集会へと転換してきた。戦争、暴力、ヘイト、ウソの報道など、克服しなければならないことがたくさんある。今こそ連帯が必要。改憲を止める平和な合流、市民同士が日韓関係をつくらなければならない。日本の平和は、東アジアの平和に直結する。連帯して希望の時代、平和と正義の時代をつくろう。私たちは平和と友情のためにがんばる」と訴えました。

止めよう!辺野古埋立て国会包囲実行委員会・中村利成さんは、辺野古新基地建設に関する裁判の状況について話し、「団体署名と、裁判長あての要請ハガキに取り組んでいるので協力をお願いする。辺野古に基地を造らせないため、連帯してたたかおう」と訴えました。安保関連法に反対するママの会@ちば・金光理恵さんは、幕張メッセで開かれている武器見本市の開催に抗議する取り組みを行っていることを紹介し、「11月2日には海浜幕張駅で抗議イベント、18日には幕張メッセ前で人間の鎖などを行うので、参加いただきたい。日本で武器見本市は開けないということを思い知らせたい」と呼びかけました。

戦争をさせない1000人委員会の勝島一博さんが行動提起。10月21日の11・3憲法集会の告知宣伝、11・3憲法集会、11月14日の総がかり宣伝・署名行動などへの参加を呼びかけました。

